特別地域（特別保護地区）内土地の形状変更許可申請書

　自然公園法第20条（第21条）第３項の規定により　　　　　　　国定公園の特別地域（特別保護地区）内における土地の形状変更の許可について、次のとおり申請します。

 　　　　年　　　月　　　日

 申請者の住所および氏名

印

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 法人にあつては、主たる事務所の所在地および名称ならびに代表者の氏名 | 　 |

　（宛先）

　　滋賀県知事

|  |  |
| --- | --- |
| 目　　　　　　　　的 |  |
| 場　　　　　　　　所 |  |
| 行為地およびその付近の状況 |  |
| 施行方法 | 土地の形状を変更する面積 |  |
| 工事の方法 |  |
| 変更後の土地の形状 |  |
| 関連行為の概要 |  |
| 変更後の取扱 |  |
| 予定日 | 着　　　　　　手 | 年　　　月　　　日 |
| 完　　　　　　了 | 年　　　月　　　日 |
| 備　　　　　　　　考 |  |
|

（備考）

１　添付図面

 (1)行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000程度の地形図

 (2)行為地およびその付近の状況を明らかにした縮尺1:5,000程度の概況図および天然色写真（カラー写真）

 (3)行為の施行方法を明らかにした縮尺1:1,000程度の平面図、断面図

 (4)行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺1:1,000程度の修景図

 (5)その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

２　注意

 (1)申請文の「　　　　　国定公園」の箇所には当該国定公園の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。

 (2)「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入すること。

 (3)「行為地およびその付近の状況」欄には、地形、植生等、海域公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深（干満）、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を、添付図面に表示すること。

 (4)「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採、支障となる動植物の除去、工事用仮工作物の設置等、申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (5)「変更後の取扱」欄には、土地の形状変更後の用途、風致景観の保護のために行う措置を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (6)「備考」欄には、次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分または届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況

イ　土地所有関係および申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否またはその見込み

ウ　過去に自然公園法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付、番号および付された条件

エ　当該申請に関する連絡先（電話番号またはメールアドレス）なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

 (7)用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。

(8)この申請書は、行為地が大津市内にある場合にあつては２部、行為地が大津市外にある場合にあつては３部提出すること。ただし、提出する申請書の部数について別の指示がある場合は、その指示に従うこと。